

沖縄県がん対策推進計画中間評価 関連参考資料

- ・ 沖縄県がん対策推進計画に係る中間評価の考え方について
- ・ 中間評価の体制
- ・ 分野の考え方
- ・ 中間評価の施策・指標マップ 緩和ケア分野（たたき台）
- ・ 目次（案）
- ・ 患者・家族調査（案）
- ・ 医療者調査（案）
- ・ 沖縄県のがん対策に関するタウンミーティング（みんなで沖縄県のがん計画の評価について考えませんか？）（チラシ）

出所：平成 27 年度第 2 回（8 月 7 日）沖縄県がん診療連携協議会 資料

<http://www.okican.jp/detail.jsp?id=68794&menuid=13854&funcid=1>

沖縄県がん対策推進計画に係る中間評価の考え方について

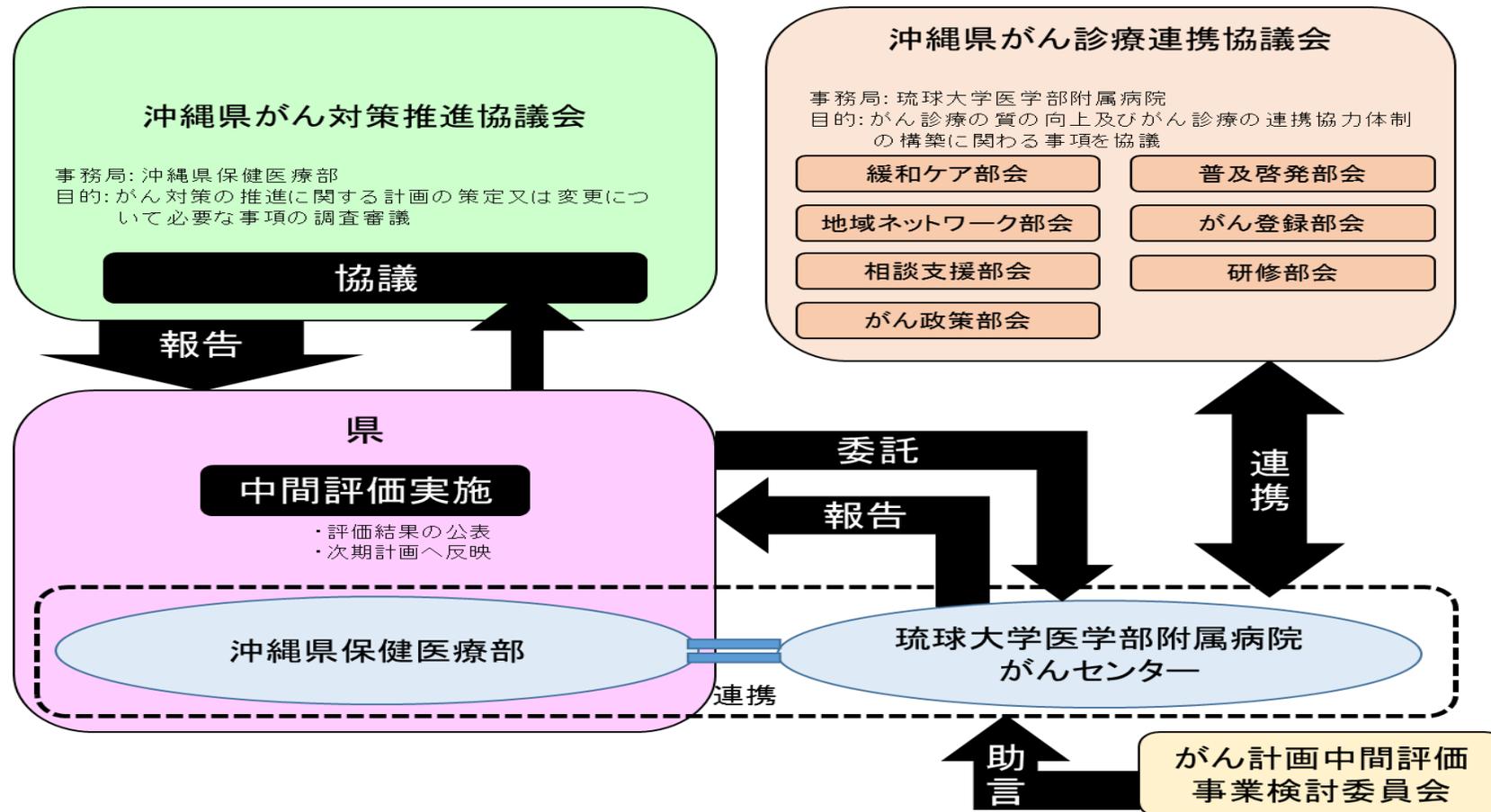
沖縄県は、平成22年の都道府県別生命表で平均寿命の都道府県順位が男性30位、女性3位と順位をさげており、健康長寿おきなわの復活を実現する施策の展開が急務となっている。県民の要因別死亡者数はがんが第1位であり、がんに対する県施策の重要性は高まっている。

本県のがん対策施策の現状としては、タバコ対策や食生活改善といったがんの予防、がん検診等のがんの早期発見、がんに関する知識を身につけるがんの教育・普及啓発及びがん診療連携拠点病院の機能強化といったがん医療対策を推進している。また、がんの罹患、転帰その他がんの実態を把握してがん対策の基礎となるデータを把握するためがん登録の推進、がん患者の就労支援及び島嶼県である本県の地理的特性から離島・へき地がん患者等に対する支援など様々な対策を講じてきた。しかし、がん検診受診率の伸び悩みなど依然としてがん対策施策について多くの課題が残されている。

本県では、平成24年8月に「がん対策基本法」の趣旨を踏まえ、がんの予防及び早期発見により、県民の健康保持を図るとともに、がん患者及びその家族の療養生活に伴う様々な不安の軽減を図るため、がん対策に関する基本的な事項を定めた「沖縄県がん対策推進条例」を定めた。また、「がん対策基本法」の規定により平成19年6月に「沖縄県がん対策推進計画（第1次）」を策定し、平成25年4月には第2次となる「沖縄県がん対策推進計画」を策定し、現計画により諸般のがん対策施策を展開している。

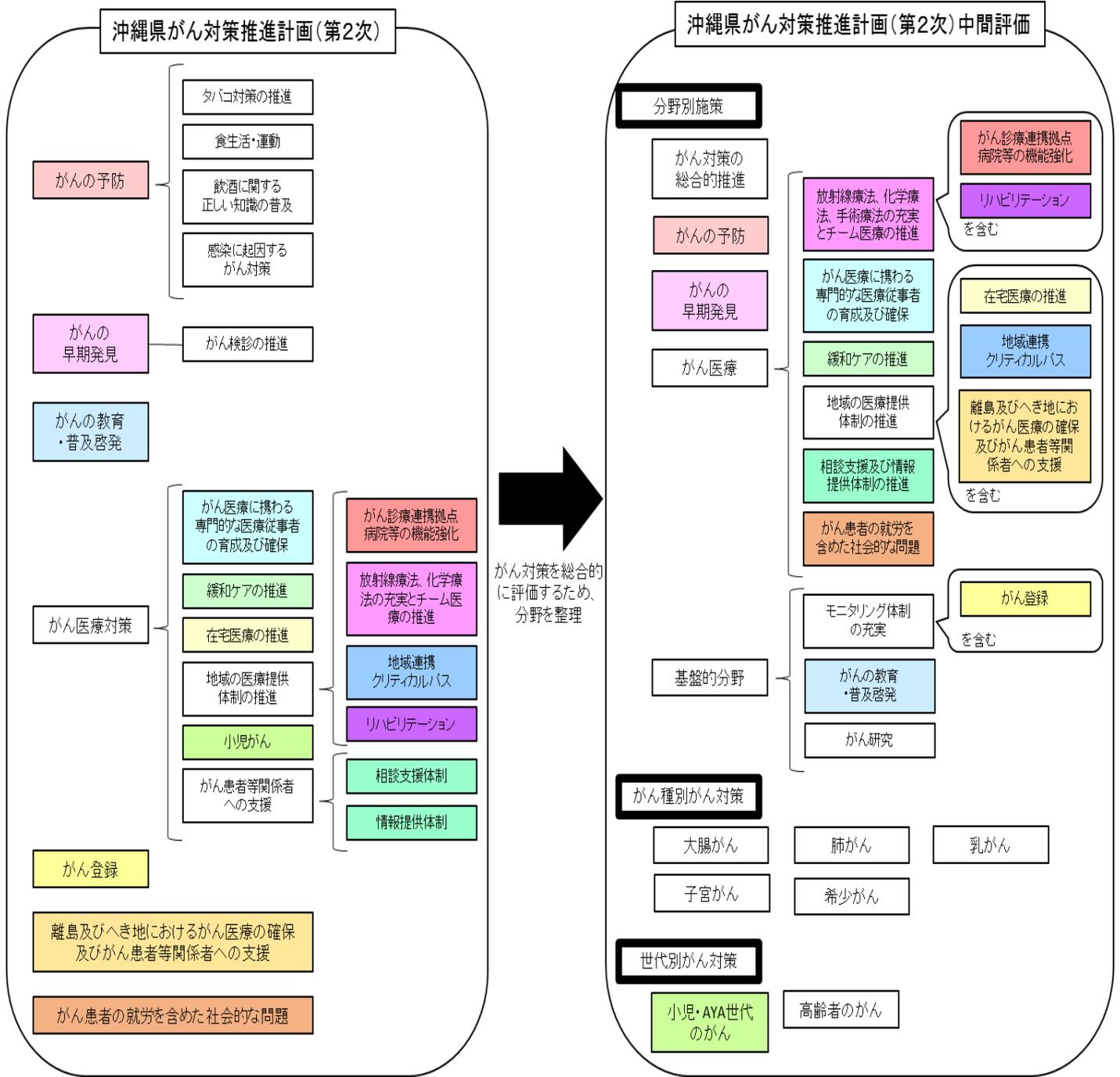
平成27年度は「沖縄県がん対策推進計画」の中間評価の年度となる。今回の中間評価においては、現計画における「達成目標」・「調査検討事項」等についての効果的な評価指標の選定、選定された評価指標の適正・確実な測定及び測定結果の分析により評価を行うことで、現計画の効果的な実施を図り、さらに有効な次期計画の策定につなげることを目指す。

2. 中間評価の体制 (案)



氏名	所属・役職
埴岡 健一	東京大学 公共政策大学院 医療政策教育・研究ユニット 特任教授
天野 慎介	一般社団法人 グループ・ネクサス・ジャパン 理事長
東 尚弘	国立がん研究センター がん対策情報センター がん政策科学研究部長
増田 昌人	琉球大学 医学部 附属病院 がんセンター センター長・診療教授
井岡 亜希子	琉球大学 医学部 附属病院 がんセンター 特命助教

Ⅲ 分野の考え方（案）



3. (4)がん医療 ③緩和ケアの推進－沖縄県がん対策推進計画(第二次)中間評価(たつき台)

優先順位	番号	C 施策 指標
<1>		緩和ケアの中期ビジョンを策定する組織を設置し、ビジョンの策定、評価体制を構築する。 ・中間ビジョンを策定する組織の設置 →未設置
<2>		がん診療(連携拠点)病院 ^{*2} を中心に、精神的痛みを含む痛みのスクリーニングを実施する。
<3>		がん診療(連携拠点)病院 ^{*2} の緩和ケアチームが中心となって、他の医療機関との相互連携による患者及び家族の利便性を重視した緩和医療を提供する。 ≪第2次計画では次のとおり記述≫ 県は、住み慣れた家庭、地域等で緩和ケアを受けられることができる体制を推進します。 沖縄在宅緩和ケアマップの作成 → http://www.okican.jp/index_caremap.jsp
	1	県は、がん診療(連携拠点)病院 ^{*2} 、がん診療連携支援病院 ^{*3} 、その他の医療機関、関係機関・団体等と連携し、緩和ケアに関する知識及び技術を有する医療従事者の育成を図り、がん患者、その家族の状況に応じ、がんと診断されたときからの緩和ケアの提供体制を推進します。 医療用麻薬の消費量(〇内は2010年) →[](36.5g/千人)【目標:41.4g/千人】
	3	県は、緩和ケアに関する普及啓発を推進します。
	8	市町村は、県、医療機関等と連携し、その管轄地域において、地域住民への緩和ケアに関する普及啓発に努めます。

番号	B 中間アウトカム 指標
1	緩和ケアの中期(5年)ビジョンが策定され、そのビジョンの実現に向けて組織的に活動している。 中期(5年)ビジョンの進捗結果(アクションプランの作成、実施状況で評価) →アクションプランは未作成
2	すべてのがん患者とその家族が、がんと診断された時から質の高い緩和ケアを受けている。 ・精神的痛みを含むスクリーニングを、全ての外来患者に対して毎回行っている医療機関の割合 ・身体的痛みスクリーニングを、全ての入院患者に対して連日行っている医療機関の割合 医療者に痛みを相談できる環境にあると回答した患者の割合⇒『問13』 ・「従事している施設の緩和ケアレベルが向上した」と回答した医療者の割合⇒『問18』 ・「従事している施設でACPが実践されている」と回答した医療者の割合⇒『問19』 ・医療者が精神的痛みを含む評価を実施している割合⇒『問20』

番号	A 分野アウトカム 指標
1	すべてのがん患者とその家族が、(基本的または専門的な)緩和ケアを実践できる医療者や、患者の状態に応じた切れ目のない連携体制によって、がんと診断された時から質の高い緩和ケアを受け、身体的・精神的・社会的苦痛が軽減され、療養生活に満足している。 除痛率 →今回は測定困難 ・「治療中および治療後の痛みに、医療スタッフが対応した」と回答した患者の割合⇒『問11』 ・「療養生活に満足している」と回答した患者の割合⇒『問12』

問11. 治療中および治療後の痛みに、主治医、看護師などの医療スタッフが対応しましたか？

問12. 療養中に身体的・精神的・社会的苦痛が軽減され、今の療養生活に満足していますか？

問13. あなたは、痛みがあったら、すぐに医療スタッフに痛みを相談できますか？

問18. あなたの施設では、緩和ケアのレベルが3年前と比較して向上したと思いますか？

問19. あなたの施設では、がん患者に対する意思決定支援が実践されていますか？

問20. あなたの担当するがん患者で、精神的痛みを含む痛みの評価を何%ぐらいの患者に実施していますか？

*1 厚生労働省.「新規指定・指定更新推薦書」または「現況報告書」. 2014年10月

*2 都道府県がん診療連携拠点病院:琉球大学医学部附属病院
地域がん診療連携拠点病院:那覇市立病院、沖縄県立中部病院
地域がん診療病院:沖縄県立宮古病院

*3 がん診療連携支援病院:北部地区医師会病院、沖縄県立八重山病院

目 次 (案)

I 沖縄県がん対策推進計画（第2次）の趣旨

II 中間評価の考え方

1. 基本方針
2. 中間評価の体制
3. 中間評価の方法

III 分野の考え方

IV 沖縄県がん対策推進計画（第2次）の取組状況と中間評価

1. 中間評価の要旨
2. 全体目標についての進捗状況
3. 分野別施策の個別目標についての進捗状況
 - (1) がん対策の総合的推進
 - (2) がんの予防
 - (3) がんの早期発見
 - (4) がん医療
 - ① 放射線療法、化学療法、手術療法の充実とチーム医療の推進
 - ② がん医療に携わる専門的な医療従事者の育成及び確保
 - ③ 緩和ケアの推進
 - ④ 地域の医療提供体制の推進
 - ⑤ 相談支援及び情報提供体制の推進
 - ⑥ がん患者の就労を含めた社会的な問題
 - (5) 基盤的分野
 - ① モニタリング体制の充実（「がん登録」を含む）
 - ② がんの教育・普及啓発
 - ③ がん研究
4. がん種別がん対策の進捗状況
 - (1) 大腸がん
 - (2) 肺がん
 - (3) 乳がん
 - (4) 子宮がん

(5) 希少がん

5. 世代別がん対策の進捗状況

(1) 小児(15歳未満)・AYA世代(15歳~29歳)のがん

(2) 高齢者(75歳以上)のがん

V 沖縄県がん対策推進計画(第2次)の見直し

VI 各種資料

患者さん・ご家族のみなさまへ（案）

～沖縄県におけるがん医療をより充実させるため、ご協力をお願いします～

沖縄県では、平成 25 年 4 月に沖縄県がん対策推進計画（第 2 次）を策定し、県と市町村、保健医療関係者、県民、事業者、関係機関・団体等が一体となって、がんの予防、がんの早期発見、がん医療などのがん対策に取り組んでいます。今年度はこれら取り組みの評価を行う年です。

本調査は、沖縄県のがん医療をより充実させるため、実施することになりました。今回、あなたの受診された施設が選ばれ、その協力のもと調査用紙をお送りしております。受診された患者さんの中から、選ばれた患者さんを対象に、調査票をお送りしております。大変お手数ですが、ご協力をお願いします。

このアンケートの回答は任意であり、回答しないことで不利益が生じることはありません。また、回答いただいた内容を調査の目的以外に使用することは一切ありません。

お手数をおかけし大変申し訳ございませんが、ご記入の上、平成 27 年〇〇月〇〇日までに返信用封筒を使って郵便ポストへ投函していただきますようお願い申し上げます。

ご記入についてのお願い

- ◆アンケートは、患者さんご本人（封筒の宛名の方）についてお伺いするものです。
- ◆ご高齢・病状などにより、患者さんご本人にご記入いただくことが困難な場合は、ご家族や代理の方がご記入ください。
- ◆アンケートの宛名の患者さんが亡くなられている場合でも、患者さんご本人の体験について代理の方が可能な範囲でご回答ください。
- ◆設問の回答は、直接この調査票の該当する項目に、鉛筆またはボールペンで〇をお付けください。

<調査票の返送先>

ご記入後は、この調査票を同封の返信用封筒に入れ、平成 27 年〇〇月〇〇日（〇）までにポストへ投函してください。切手は不要です。

無記名調査ですので、調査票・返信用封筒には住所・氏名を記入しないでください。

<この調査に関するお問い合わせ先>

沖縄県 保健医療部 保健医療政策課

〒900-8570 沖縄県那覇市泉崎 1-2-2

TEL：(代表)：098-866-2333 (内線：)

※電話受付時間：平日 : ~ :

【質問スタートです】

あてはまる回答を1つ選び、数字に○をお付けください。

問1. 記入者はどなたでしょうか？

1. 患者さんご本人（封筒の宛名の方） 2. ご本人以外（患者さんとの関係：_____）

＜患者さんご本人（封筒の宛名の方）についてお答えください＞

問2. 患者さんの性別をお答えください。

1. 男性 2. 女性

問3. 現在の患者さんの年齢をお答えください。

1. 20歳～29歳 2. 30歳～39歳 3. 40歳～49歳 4. 50歳～59歳
5. 60歳～69歳 6. 70歳～79歳 7. 80歳以上

問4. 患者さんは、がんと診断されたことがありますか？

1. ある 2. ない

がんと診断されたことがある方へ

引き続き、以下の質問にお答えください。
回答にあたっては、患者さんの考えや状況に近い回答を1つ選び、数字に○をお付けください。

がんと診断されたことがない方へ

質問は以上です。ご回答いただき、ありがとうございました。
裏面の最後にコメント欄がございます。
何かご意見等ございましたら、ご記入ください。
同封の返信用封筒で、平成27年〇〇月〇〇日(〇)までにポストへ投函願います。

問5. あなたは、受けるべき安全で適切な質の高い医療を受けられたと思いますか？

1. そう思う 2. ややそう思う 3. あまりそう思わない 4. そう思わない

問6. あなたは、チーム医療（診断・治療に関わる医師、看護師、他の医療スタッフが連携した医療）を受けられたと思いますか？

1. そう思う 2. ややそう思う 3. あまりそう思わない 4. そう思わない

問7. 診断または治療で、最初の医療機関から別の医療機関に紹介されてうつつた方にお聞きます。
あなたは、何ら支障なく、紹介先の医療機関を受診できたと思いますか？

1. そう思う 2. ややそう思う 3. あまりそう思わない 4. そう思わない

問8. あなたに医療を提供した医療スタッフは、あなたの希望に沿った医療を提供してくれたと思いますか？

1. そう思う 2. ややそう思う 3. あまりそう思わない 4. そう思わない

問9. あなたは、これまで診断や治療に疑問をいただいたことがありましたか？

1. あった 2. ときどきあった 3. あまりなかった 4. なかった

問10. 主治医、看護師などの医療スタッフは、あなたの話に耳を傾け、あなたが置かれている状況を踏まえ、対応してくれていると思いますか？

1. そう思う 2. ややそう思う 3. あまりそう思わない 4. そう思わない

問11. 治療中および治療後の痛み、主治医、看護師などの医療スタッフが対応しましたか？

1. 対応した 2. ときどき対応した 3. あまり対応しなかった 4. 対応しなかった

問12. 療養中に身体的・精神的・社会的苦痛が軽減され、今の療養生活に満足していますか？

1. 満足している 2. やや満足している 3. あまり満足していない 4. 満足していない

問13. あなたは、痛みがあったら、すぐに医療スタッフに痛みを相談できますか？

1. できる 2. ある程度できる 3. あまりできない 4. まったくできない

問14. 離島にお住まいの方にお聞きます。

受けるべき安全で適切な質の高い医療を受けていると思いますか？

1. そう思う 2. ややそう思う 3. あまりそう思わない 4. そう思わない

問15. がんと診断されたことによる心配や悩みは、これまで受けた情報や支援によって現在は軽減されたと思いますか？

1. そう思う 2. ややそう思う 3. あまりそう思わない 4. そう思わない

問16. あなたは、自分が思うような日常生活を送るのに必要な情報や支援を得られていますか？

1. 十分得られている 2. ある程度得られている 3. あまり得られていない 4. まったく得られていない

裏面へ

問 17. がん相談支援センター（または、がんについての相談窓口）を知っていますか？

1. 利用したことがある 2. 利用したことはないが、知っている 3. 知らない

問 18. 【問 17で、「1. 利用したことがある」とお答えした方にお聞きします。】

がん相談支援センター（または、がんについての相談窓口）を利用して、あなたが欲しいと思った情報や希望に沿った支援が得られましたか？

1. 十分得られた 2. ある程度得られた 3. あまり得られなかった 4. まったく得られなかった

問 19. ピアサポート（がんの経験者等によるサポート）を知っていますか？

1. 利用したことがある 2. 利用したことはないが、知っている 3. 知らない

問 20. 【問 19で、「1. 利用したことがある」とお答えした方にお聞きします。】

ピアサポートにより、あなたが欲しいと思った情報や希望に沿った支援が得られましたか？

1. 十分得られた 2. ある程度得られた 3. あまり得られなかった 4. まったく得られなかった

問 21. がんと診断されたことを理由に、生活の不安を感じますか？

1. よく感じる 2. ときどき感じる 3. あまり感じない 4. まったく感じない

問 22. 治療費用の負担が原因で、以下のことはありましたか？

① がんの治療を変更した。または断念した。 1. あった 2. なかった

② 親戚や他の人から金銭的援助を受けた。 1. あった 2. なかった

③ 貯金をとりくずした。または借金をした。 1. あった 2. なかった

④ 身の回りのものを売った。 1. あった 2. なかった

⑤ 引っ越して住むところを変えた。 1. あった 2. なかった

問 23. がんと診断されてからこれまで、周囲の対応が原因で、傷ついたことはどの程度ありますか？

1. よくあった 2. ときどきあった 3. あまりなかった 4. まったくなかった

問 24. がんと診断された時、20歳～29歳だった方にお聞きします。

治療後に、自分が思うような日常生活を送るのに必要な支援を受けられていると思いますか？

1. そう思う 2. ややそう思う 3. あまりそう思わない 4. そう思わない

問 25. がんと診断された時、収入のある仕事をしていましたか？

1. はい、収入のある仕事をしていました 2. いいえ、収入のある仕事をしていなかった

収入のある仕事をしていました方へ

引き続き、問 25にお答えください。

収入のある仕事をしていなかった方へ

質問は以上です。

ご回答いただき、ありがとうございました。
最後のコメント欄に、ご意見等ございましたら、
ご記入ください。

問 26. がんと診断された時、収入のある仕事をしていました方にお聞きします。

① 主治医、看護師などの医療スタッフから、就労を継続することに関して、必要な情報が十分得られましたか？

1. 十分得られた 2. ある程度得られた 3. あまり得られなかった 4. まったく得られなかった

② 主治医、看護師などの医療スタッフから、仕事をどのようにするのがよいか、何か相談にのってもらいましたか？

1. 相談にのってもらった 2. 相談にはのってもらっていないが、相談にのってもらう人を紹介してくれた
3. 相談も紹介もなかった 4. 特に仕事に関して相談したいことはなかった

③ そのとき働いていた職場の上司に、がんと診断されたことを話しましたか？

1. 話した 2. 話さなかった

④ そのとき働いていた職場の同僚に、がんと診断されたことを話しましたか？

1. 話した 2. 話さなかった

質問は以上です。ご回答いただき、ありがとうございました。

<コメント欄：何かご意見・ご感想がございましたら、ご自由にお書きください。>

ご協力ありがとうございました。
同封の返信用封筒で、平成27年〇〇月〇〇日（〇）までにポストへ投函願います。

医療者のみなさまへ（案）

～沖縄県におけるがん医療をより充実させるため、ご協力をお願いします～

沖縄県では、平成 25 年 4 月に沖縄県がん対策推進計画（第 2 次）を策定し、県と市町村、保健医療関係者、県民、事業者、関係機関・団体等が一体となって、がんの予防、がんの早期発見、がん医療などのがん対策に取り組んでいます。今年度はこれら取り組みの評価を行う年です。

本調査は、沖縄県のがん医療をより充実させるため、実施することになりました。がん医療に携わっている医療者のみなさまに調査用紙をお送りしますので、大変お手数ですが、ご協力をお願いします。

このアンケートの回答は任意であり、回答しないことで不利益が生じることはありません。また、回答いただいた内容を調査の目的以外に使用することは一切ありません。

お手数をおかけし大変申し訳ございませんが、ご記入の上、平成 27 年〇〇月〇〇日までに返信用封筒を使って郵便ポストへ投函していただきますようお願い申し上げます。

ご記入についてのお願い

がん医療についてお答えください。

- ◆アンケートは、医療者ご自身（医師・看護師・その他医療スタッフ）についてお伺いするものです。
- ◆設問の回答は、直接この調査票の該当する項目に、鉛筆またはボールペンで○をお付けください。

<調査票の返送先>

ご記入後は、この調査票を同封の返信用封筒に入れ、平成 27 年〇〇月〇〇日（○）までにポストへ投函してください。切手は不要です。

無記名調査ですので、調査票・返信用封筒には住所・氏名を記入しないでください。

<この調査に関するお問い合わせ先>

沖縄県 保健医療部 保健医療政策課

〒900-8570 沖縄県那覇市泉崎 1-2-2

TEL：（代表）：098-866-2333 （内線： ）

※電話受付時間：平日： ～：

【質問スタートです】

あなたの考えや状況に近い回答を 1 つ選び、数字に「○」をお付けください。

問 1. あなたの職種をお答えください。

1. 医師 2. 看護師 3. 薬剤師 4. ソーシャルワーカー 5. その他（ ）

問 2. あなたの年齢をお答えください。

1. 20 歳～29 歳 2. 30 歳～39 歳 3. 40 歳～49 歳 4. 50 歳～59 歳
5. 60 歳～64 歳 6. 65 歳以上

問 3. あなたの施設の医療圏域をお答えください。

1. 北部医療圏 2. 中部医療圏 3. 南部医療圏 4. 八重山医療圏 5. 宮古医療圏

問 4. 異職種間で自由に意見できる雰囲気ですか？

1. そう思う 2. ややそう思う 3. あまりそう思わない 4. そう思わない

問 5. 医師は必要な情報を医療スタッフ（or あなた）と共有していると思いますか？

1. そう思う 2. ややそう思う 3. あまりそう思わない 4. そう思わない

問 6. 医師以外の職種の役割を、必要に応じて補い合っている仕事をしていると思いますか？

1. そう思う 2. ややそう思う 3. あまりそう思わない 4. そう思わない

問 7. あなたの担当するがん患者で、治療方針（告知等）の説明の際に、医師以外の職種も参加している割合は何%ぐらいですか。

1. 100% 2. 75%以上 100%未満 3. 50%以上 75%未満 4. 25%以上 50%未満 5. 25%未満

問 8. がん医療を行っていくうえで、他の医療機関との連携に困難感があると思いますか？

1. よくある 2. ときどきある 3. あまりない 4. まったくない

問 9. 専門医療機関に対してがん患者を紹介したときに受け入れてもらえますか？

1. 受け入れてくれる（断られることはめったにない） 2. たいてい受け入れてくれる（たまに断られる）
3. どちらかという断られるほうが多い 4. ほとんど断られる

問 10. 他院へがん患者を紹介した際に、その後の経過について紹介先医療機関からの情報提供がありますか？

1. いつも十分ある 2. たいていは十分ある 3. たいてい不足している
4. いつも不足している 5. 気にしていない

問 11. 他院からがん患者が紹介されてきた際に、その後の診療を継続するのに十分な情報が紹介先医療機関から提供されていますか？

1. いつも十分ある 2. たいていは十分ある 3. たいてい不足している
4. いつも不足している 5. 気にしていない

問 12. より専門的な医療機関へがん患者を紹介したいと思うときに、どの医療機関に紹介するかを決めるための情報が足りないと感じることはありますか？

1. かなりある 2. ややある 3. あまりない 4. まったくない

問 13. がん患者を定期的なフォローアップのために紹介したい時、どの医療機関に紹介するかを決めるための情報が足りないと感じることはどの程度ありますか？

1. かなりある 2. ややある 3. あまりない 4. まったくない

問 14. がん診療連携拠点病院、がん診療病院、がん診療連携支援病院についてお尋ねします。

①琉球大学医学部附属病院は、がん診療連携拠点病院の指定要件に示された役割を十分に担っていると思いますか？

1. そう思う 2. ややそう思う 3. あまりそう思わない 4. そう思わない

②那覇市立病院は、がん診療連携拠点病院の指定要件に示された役割を十分に担っていると思いますか？

1. そう思う 2. ややそう思う 3. あまりそう思わない 4. そう思わない

③沖縄県立中部病院は、がん診療連携拠点病院の指定要件に示された役割を十分に担っていると思いますか？

1. そう思う 2. ややそう思う 3. あまりそう思わない 4. そう思わない

④沖縄県立宮古病院は、がん診療病院の指定要件に示された役割を十分に担っていると思いますか？

1. そう思う 2. ややそう思う 3. あまりそう思わない 4. そう思わない

⑤北部地区医師会病院は、がん診療連携支援病院の役割を十分に担っていると思いますか？

1. そう思う 2. ややそう思う 3. あまりそう思わない 4. そう思わない

⑥沖縄県立八重山病院は、がん診療連携支援病院の役割を十分に担っていると思いますか？

1. そう思う 2. ややそう思う 3. あまりそう思わない 4. そう思わない

⑦琉球大学医学部附属病院は、県内のがん診療の連携体制の整備構築の役割を十分に担っていると思いますか？

1. そう思う 2. ややそう思う 3. あまりそう思わない 4. そう思わない

問 15. がん医療を提供するとき、専門医の不足を感じることはどの程度ありますか？

1. かなりある 2. ややある 3. あまりない 4. まったくない

問 16. がん医療を提供するとき、医師以外の専門的な医療従事者（がん化学療法看護認定看護師、緩和ケア認定看護師、がん薬物療法認定薬剤師、など）の不足を感じることはどの程度ありますか？

1. かなりある 2. ややある 3. あまりない 4. まったくない

問 17. あなたは、がん患者の話に耳を傾け、患者が置かれている状況を踏まえ対応していると思いますか？

1. そう思う 2. ややそう思う 3. あまりそう思わない 4. そう思わない

問 18. あなたの施設では、緩和ケアのレベルが3年前と比較して向上したと思いますか？

1. そう思う 2. ややそう思う 3. あまりそう思わない 4. そう思わない

問 19. あなたの施設では、がん患者に対する意思決定支援が実践されていますか？

1. 十分実践されている 2. ある程度実践されている 3. あまり実践されていない
4. まったく実践されていない

問 20. あなたの担当するがん患者で、精神的痛みを含む痛みの評価を何%ぐらいの患者に実施していますか？

1. 100% 2. 75%以上 100%未満 3. 50%以上 75%未満 4. 25%以上 50%未満 5. 25%未満

問 21. 離島に居住しているがん患者が、適切な医療を受けていると思いますか？

1. そう思う 2. ややそう思う 3. あまりそう思わない 4. そう思わない

問 22. 現在離島でがん医療に従事している方、または過去に離島でがん医療に従事した方にお聞きします。離島に居住しているがん患者のうち、より専門的な医療機関へ紹介したい場合、大きな支障なく紹介できた症例は何%ぐらいですか？

1. 100% 2. 75%以上 100%未満 3. 50%以上 75%未満 4. 25%以上 50%未満 5. 25%未満

問 23. 現在本島でがん医療に従事している方、または過去に本島でがん医療に従事した方にお聞きします。離島に居住しているがん患者のフォローアップのために、地元の医療機関へ紹介したい場合、大きな支障なく紹介できた症例は何%ぐらいですか？

1. 100% 2. 75%以上 100%未満 3. 50%以上 75%未満 4. 25%以上 50%未満 5. 25%未満

問 24. あなたの担当するがん患者で、在宅医療を希望された患者のうち、在宅医療に移行した症例は何%ぐらいですか？

1. 100% 2. 75%以上 100%未満 3. 50%以上 75%未満 4. 25%以上 50%未満 5. 25%未満

問 25. あなたの担当するがん患者で、新規治療開始患者のうち、がん相談支援センター（または、がんについての相談窓口）やピアサポートの情報を提供した症例は何%ぐらいですか？

1. 100% 2. 75%以上 100%未満 3. 50%以上 75%未満 4. 25%以上 50%未満 5. 25%未満

問 26. 医師以外の医療スタッフの方にお聞きします。

がん患者のケアに関して、自分の意見を医師に対して自由に言えますか？

1. 言える 2. ときどき言える 3. あまり言えない 4. 言えない

問 27. 医師の方にお聞きします。

他の医療スタッフの話に耳を傾けていますか？

1. そう思う 2. ややそう思う 3. あまりそう思わない 4. そう思わない

以上で質問は終わりです。ご協力ありがとうございました。

沖縄県のがん対策に関する タウンミーティング

みんなで沖縄県のがん計画の 評価について考えませんか？

今回のテーマ

『沖縄県がん対策推進計画(第2次)中間評価』 について

対象者は、全ての県民の皆様です。がん患者さんや
そのご家族、ご遺族の方などどなたでもお気軽にご参
加下さい。

あなたの声が今後の沖縄県のがん対策に必要です。

みなさまのご参加を
お待ちしております！

入場料
無料
申込不要

タウンミーティングとは？

地域住民の参加により予算、
法律、その他自治体に関わる
今後の政策事項を話しあう集
会のことです。



日 時

平成27年

8月8日 土

開演：午後1時～4時 (12:30開場)

場 所

浦添市てだこホール マルチメディア学習室

MAP



〒901-2103

浦添市仲間1-9-3番地

電話：098-942-4360



主催：琉球大学医学部附属病院がんセンター

共催：沖縄県

後援：沖縄県がん診療連携協議会

プログラム



【 テーマ 】

『沖縄県がん対策推進計画（第2次）中間評価』について

12:30～ 開場

13:00～ 開会のあいさつ

増田 昌人（琉球大学医学部附属病院がんセンター長・診療教授）

司会：井岡 亜希子（琉球大学医学部附属病院がんセンター 特命助教）

第1部 講演会

13:05～ 講演会「患者目線の情報発信」

濱本 満紀さん（NPO法人 がんと共に生きる会 副理事長・
前 厚生労働省がん対策推進協議会委員）

13:35～ 質疑応答

13:50～ 休憩

第2部 タウンミーティング

14:00～ 中間評価に対する沖縄県の基本方針について

国吉 秀樹さん（沖縄県保健医療部 保健衛生統括監）

14:10～ 中間評価の意義について

埴岡 健一さん（東京大学公共政策大学院 医療政策教育・研究ユニット 特任教授）

14:20～ 患者目線の中間評価について

天野 慎介さん（一般社団法人 グループ・ネクサス・ジャパン 理事長・
一般社団法人 全国がん患者団体連合会 理事長）

14:30～ 国の中間評価について

東 尚弘さん（国立がん研究センター がん対策情報センター がん政策科学研究部長）

14:40～ ご意見シート記入・休憩（ご意見シート回収）

14:50～ 総合討論（60分）

15:55～ 閉会のあいさつ

増田 昌人

◆ お問い合わせ先 ◆

琉球大学医学部附属病院がんセンター

☎：098-895-1368／1369／1374

fax: 098-895-1497

HP: <http://www.ryukyucc.jp>

